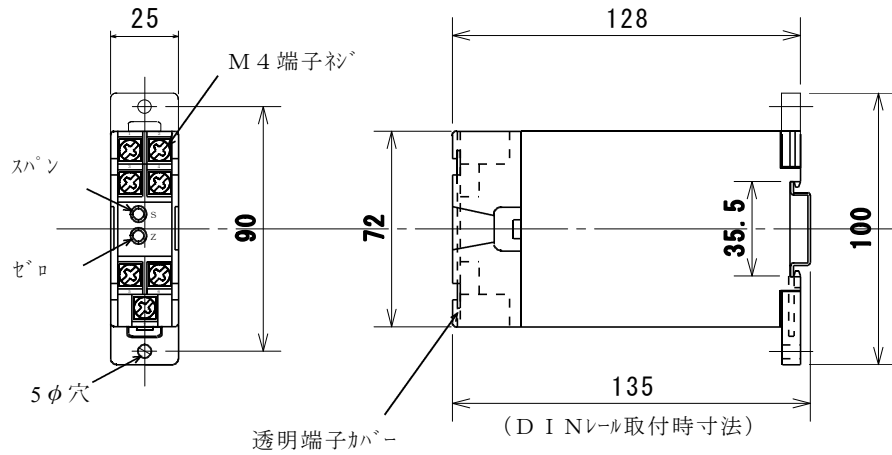


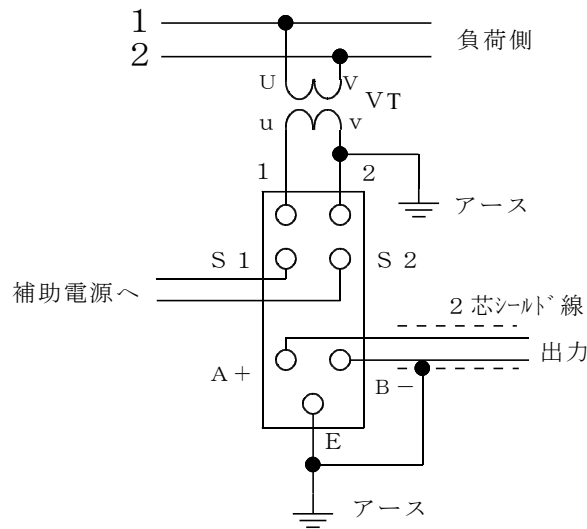
# 仕様書

1. 品名 電圧トランスデューサ
2. 形名 TV-①, ②, ③ 尚、①②と③は下記による。  $\Delta$
3. 動作方式 実効値演算形
4. 仕様
- 4-1 参照規格 J I S C - 1 1 1 1
- 4-2 入力 ① 5 0 / 6 0 H z
- 1 : A C 0 ~ 1 5 0 V
- 2 : A C 0 ~ 3 0 0 V
- 3 : A C 0 ~ 8 6 . 6 V  $\Delta$
- 4 : その他
- 4-3 出力 ② 負荷抵抗
- A : D C 4 ~ 2 0 m A 6 0 0  $\Omega$  以下
- B : D C 0 ~ 1 m A 1 0 k  $\Omega$  以下
- C : D C 1 ~ 5 V 1 k  $\Omega$  以上
- D : D C 0 ~ 5 V 1 k  $\Omega$  以上
- E : D C 0 ~ 1 0 V 1 k  $\Omega$  以上
- Z : 指定レンジ
- 4-4 補助電源 ③  $\Delta$
- 1 : フリー電源 A C 8 5 V ~ 2 6 4 V / D C 8 5 V ~ 1 4 3 V
- 2 : D C 2 0 V ~ 3 0 V
- 3 : D C 4 0 V ~ 6 0 V
- 4 : D C 1 7 0 V ~ 2 8 6 V  $\Delta$
- 標準仕様は、TV-1A1です。
- 4-5 許容差  $\pm 0.5\%$  (出力スパンに対して)
- 条件 周囲温度  $23\text{ }^\circ\text{C} \pm 2\text{ }^\circ\text{C}$
- 相対湿度 45 ~ 70%
- 4-6 出力リップル 1% P-P (出力スパンに対して)
- 4-7 応答時間 0.5秒以内 (90%ステップ入力に対して出力値が $\pm 1\%$ 以内に到達)
- 4-8 連続過負荷 定格入力電圧の1.2倍
- 4-9 瞬時過負荷 定格入力電圧の2倍 (10秒間)
- 4-10 その他性能
- 直線性  $\pm 0.5\%$  (出力スパンに対して)
- 自己加熱の影響  $\pm 0.5\%$  (出力スパンに対して)
- 温度の影響  $\pm 0.5\%$  (出力スパンに対して)
- 周囲温度  $23 \pm 20\text{ }^\circ\text{C}$  変化での値
- 外部磁界の影響  $\pm 0.5\%$  (出力スパンに対して)
- 400A/m の外部磁界での値

	補助電源電圧の影響	± 0. 2 5 % (出力スパンに対して)	
		補助電源電圧全範囲変化での値	△
	周波数の影響	± 0. 2 5 % (出力スパンに対して)	
		定格周波数の±5%変化での値	
	出力負荷の影響	± 0. 2 5 % (出力スパンに対して)	
		定格出力負荷の範囲の全域変化での値	
	波形の影響	± 0. 5 % (出力スパンに対して)	
		基本波の20%の第三高調波を含む入力での値	
4-11	使用温湿度範囲	- 1 0 °C ~ 5 5 °C / 3 0 ~ 8 5 % R H	△
4-12	消費電力	測定側 0. 3 V A 以下 (AC150Vにて)	
		電源側 約 3 V A フリー電源仕様の場合	△ △
		電源側 約 2 W D C 仕様の場合	△ △
4-13	絶縁抵抗	D C 5 0 0 V メガーで測定	
		電気回路一括とアース端子間	5 0 M Ω 以上
		入力端子一括と出力端子一括	5 0 M Ω 以上
		補助電源端子一括と入出力端子一括	5 0 M Ω 以上
		出力回路一括とアース端子間	5 0 M Ω 以上 △
4-14	耐電圧	A C 2 0 0 0 V 一分間 加えて試験	
		電気回路一括とアース端子間	
		入力端子一括と出力端子一括	
		補助電源端子一括と入出力端子一括	
		出力回路一括とアース端子間	5 0 M Ω 以上 △
4-15	雷インパルス	電圧波形 1. 2 / 5 0 μ s 全波電圧 ± 6 k V 印加	
		電気回路一括とアース間	
		入力端子一括と出力端子一括	
		電流波形 ± 8 / 2 0 μ s 2 0 0 0 A	
		出力端子間	
4-16	衝撃	J I S C - 0 9 1 2 の試験方法 1 による大きさ 4 9 0 m / s <sup>2</sup> の衝撃を取付面を含む互いに直角な 3 軸を選び、各正逆方向に各 3 回、合計 1 8 回加えて試験 (ネジ取付にて)	
4-17	振動	J I S C - 0 9 1 1 の 4. 2 による振動数 1 6. 7 H z , 振動変位振幅ピークピーク値 4 m m の振動を、取付面を含む互いに直角な 3 軸方向にそれぞれ 1 時間、合計 3 時間加えて試験	
4-18	ケース材質	端子台 黒色ABS樹脂 難燃性V0 カラス繊維入り	
		ケース 黒色ABS樹脂 難燃性V0	
		端子カバー 透明ポリカーボネート	



4-20 端子接続



5. オプション仕様



5-1 コーティング処理

- ・コーティング剤：Humiseal社製 1A27NS 又は相当品
- ・内部基板ハンダ面に対しコーティング剤を塗布します。
- ・指定方法 形式末尾に ” / C ” を付与してご注文下さい。

例 TV-1A1 / C

6. 保証

納入後一カ年以内に明らかに製造者の責任と認められる不具合については無償で修理いたします。

又、ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味し、納入品の故障により誘発される損害に対してはご容赦願います。

7. 改訂記録

改訂	日付	改訂者	改訂内容
	2000/6/1	上田	初版
△	2000/6/27	上田	・ 4-11 補助電源 「DC 90 V」→「DC 88 V」に変更
△	2000/11/16	上田	・ 4-11 補助電源 「DC 88 V」→「DC 85 V」に変更
△	2002/9/13	上田	・ 4-10 使用温度範囲 「40～85%RH」→「30～85%RH」に変更
△	2003/3/17	山口	・ 4-2 入力① 3 「63.5 V」→「86.6 V」に変更 ・ 4-13 絶縁抵抗 出力端子一括とアース端子間 50 MΩ以上 追記 ・ 4-14 耐電圧 出力回路一括とアース端子間 追記
△	2004/7/22	上田	・ 5 項 オプション仕様 追加
△	2004/8/5	上田	・ 4-4 項 補助電源 ③ 追加 ・ 4-12項 DC 24, 48 Vの場合 追加
△	2006/7/19	上田	・ 4-12項 2VA → 約3VA 変更
△	2007/1/31	上田	・ 4-4 項 補助電源 ③ 4 : DC 170 V～286 V 追加
△	2009/5/29	石阪	・ 4-12項 電源消費電力表記変更